

こととした。

平核無と同様N A Aの散布に当たっては、ポ
ルドー液との近接散布をさけることも条件とし
て加えられた。

4. エスレル：継

これについては、45年9月に大阪でナシに
ついて行なわれたが、試験成績が西日本の日本
海側のところのみに偏していたため、熟期促進
効果はみとめられたが、裂果などの薬害もみら

れることから、もう一年ナシ主産地を含めた連
絡試験を実施することとした。

5. ベンジルアデニン（B A液）：継

この成績検討も昨今行なわれたが、ブドウの
ジベレリン処理果の花振り防止と着色障害防止
のために行なわれたが、試験成績の集積がたり
ないことなどからさらに試験を継続することと
した。

農 林 統 計 編

昭和46年3月20日、農林統計調査部より公表された、昭和45年産野菜の作付面積と収穫量
は、下表のとおりである。

昭和45年産野菜の作付面積と収穫量

作 物 名	範 囲	作付面積	収 穫 量	前 年 対 比		
				作付面積	作 柄	収 穫 量
		ha	t	%	%	%
きゅうり	全 国	31,500	961,800	99	101	101
とまと	"	19,300	789,500	99	101	100
なす	"	27,700	721,500	103	102	106
ピーマン	"	4,630	126,900	121	101	122
ほうれんそう	"	24,000	363,200	101	99	100
ごぼう	"	18,200	294,800	101	99	101
さといも	"	39,000	542,100	105	99	103
いちご	"	12,800	133,000	102	101	104
秋きゅうり	主産県	4,830	146,100	97	100	97
北海道たまねぎ	"	4,060	178,800	104	118	122
夏秋レタス	"	2,530	54,000	137	91	125
秋にんじん	"	3,190	74,100	106	113	120
メロン	"	788	22,000	114	101	116
セルリー	"	408	18,600	117	105	122
パセリー	"	314	6,330	95	94	90
はなやさい	"	1,490	31,000	116	97	113
秋植えびいしょ	"	7,920	119,800	100	122	122
かぶ	"	7,870	195,000	99	102	101
れんこん	"	4,650	63,200	110	83	91

注； 季節区分 秋きゅうり……9・10月に収穫最盛期にあるもの。

夏秋レタス……6～10月 "

秋にんじん……8～10月 "